

琵琶湖一周の自転車コース

推進協がガイド出版

県内のNPO法人や企業らでつくる「輪の国びわ湖推進協議会」が、琵琶湖一周サイクリングコースや歴史を



現場の声をかんだんに盛り込んで完成させた書籍「ぐるっとびわ湖 自転車の旅」―県庁で

伝える名所、立ち寄りスポットなどを満載にしたガイド本「ぐるっとびわ湖 自転車の旅」として出版した。

地道に回って集めた「努力と夢の結晶」。協議会の副会長の竹内洋行さん(三宅)多賀町藤瀬は「琵琶湖を、環境に優しい自転車文化で盛り上げたい」と夢を膨らませる。

ガイド本は全カラーで百十ページ。一周約二百キロを八コースに分けて紹介。三井寺(大津市)や、江戸時代に朝鮮通信使が使った「朝鮮人街道」を組み込んだ比較的短いコースなど三十コースにわたって掲載している。

トイレの位置や「道

幅狭く、気を付けて」と利用者の立場に立つて配慮。レンタサイクル店や故障時の自転車店、観光案内所をまとめた「お役立ち連絡先」のほか、宿泊場所や飲食店なども焦点を当てている。

竹内さんは「ストイックに完走を目指すだけではもったいない。県内には見どころがたくさんある」と説明する。

本作りは、二〇〇九年の協議会発足前からあった。昨年三月から、メンバー十三人が自転車で琵琶湖サイクリングコースを回り、取材。メモ帳とカメラを片手に、自転車で県内の魅力を探した。雨

の日も走り続け、十三人の延べ走行距離は五百キロ以上になった。地図に情報を書き込んだ

調査カードは百四十三枚に上った。竹内さんは「琵琶湖はそれぞれの場所を表

情が違ふ。多くの人の手で取ってもらえたは協議会〓電0749(26)1463〓へ。(木原育子)

県内や京都府の書店